わがまち の教育（教育委員会）

市内の学校の取り組み⑤

鏡野中学校

「鏡野中が大好き！ずっと鏡野中にいたいです」

これは、本校のある中学3年生のことばです。今、鏡野中学校は、学校が大好きという生徒でいっぱいの学校にするため、そして、「楽しいと思う授業」「勉強している内容が分かる授業」をめざして、さまざまな研究を進めています。

①1年生は少人数で勉強

通常の学級は、一学級が40人までとなっていますが、本校の1年生は30人までの人数の学級です。実際は、どの学級も26、27人と少なく、生徒に目が行きとどき、一人ひとりに関わる時間も通常の学級より多く、丁寧に教えることができています。

②充実した数学の授業

今までもいろいろな工夫をしながら数学の授業をしてきましたが、今年は、全学年の数学の授業を複数の教員で行っています。1年生はベテランの数学の指導者が定期的に授業に加わるとともに、放課後には分からないところを教えてくれています。2年生は、どの学級も2人の教員で、3年生は一学級を2つに分けて授業をしています。どの学年も、「先生に質問がしやすい」「大勢で勉強するより分かりやすい」と生徒には大好評です。

▲1年生選択数学授業の様子

③全教員が研究授業

どの学校でも、生徒に学力をつけるために、日頃行っている授業を公開し、教育委員会の先生方にその授業を見ていただいて、よりよい授業にするための取り組みをしています。本校では、今年度、この研究授業を全教員が行い、一年間を通して、みんなが今以上に「楽しく分かる授業」ができるように教科の研究をしています。このことが、生徒に学力をつける効果的な方法だと考えています。

その他にも、本校が大切にしている人権教育や部活動、そして道徳教育、特別支援教育等への取り組みなど、未来を担う鏡野中学校の生徒たちのために日々実践を続けています。

繁藤小中学校

「自然がいっぱい あったか繁藤小・中」

本校は平成16年度に高知県教育委員会から「新しいタイプの小中連携教育推進校」の指定を受け、小中連携と特色ある学校づくりを柱として取り組みを行っています。本校は小学校と中学校が同じ校舎内にある同居型の学校で、現在、小学生は11人、中学生は12人です。

学校のすぐそばには穴内川が流れ、また運動場の西には豊かな林が広がっています。児童・生徒はこのような自然に恵まれた環境のなかで、季節の移ろいを感じながら学校生活を送っています。

また平成18・19年度の2年間、文部科学省の「豊かな体験活動推進事業」の指定を受けて宿泊体験活動に取り組みました。昨年は7月に柏島（黒潮実感センター）でのシュノーケリングなどの海洋体験を、10月には高知大学農学部のご協力で地元の国見山で樹木学習等を行いました。これらの宿泊体験学習を通して児童・生徒は自然を守ることの大切さと偉大さを学びました。

「国見山でいろんなたのしいことができます。たのしいことがいっぱいできる山。ずっといろんなことができるように、大切にしていきたいです」と、ある児童は感想を述べています。

▲樹木教室の様子

繁藤小・中学校ではこのように体験活動等を通して連携教育の推進に努めています。授業では、「乗り入れ授業」を通しても連携の強化を図るようにしています。「乗り入れ授業」とは中学校教員が小学生を教えたり、逆に小学校教員が中学生を指導したりする授業です。今年は、算数や英語、音楽、技術などで実施しています。

このような活動や取り組みは児童・生徒だけでなく、教員同士の意識向上にもつながっています。

今後も、豊かな心、たくましく生きる力の育成をめざし、小中連携に取り組んでいきたいと考えています。